



7  
2025

発行所  
大阪府中央区玉造2-24-22  
カトリック大阪高松大司教区  
広報委員会  
郵便番号 540-0004  
TEL (06) 6941-9700 (代表)  
TEL (06) 6946-3223 (直通)  
FAX (06) 6946-3224 (直通)  
E-mail: kyokuh@osk.catholic.jp  
編集 広報委員会  
発行人 前田万葉

本紙  
「点訳版」「音訳」  
あります。〈無料〉  
※ご希望の場合は  
下記まで申込み  
「点訳版(点字本)」  
教区報 ☎06-6946-3223(直通)  
☎06-6946-3224(直通)  
「音訳(テープ・デジ)」  
山口さん ☎0798-34-4228

- ☆ 2025年度 地区長一覽表
- ☆ 2025年度 小教区ブロック司牧人事表
- ☆ 委員会・諸活動一覽表
- ☆ 桜町教会英語グループ堅信式
- ☆ 小教区会計収支計算書
- ☆ 教区本部会計収支計算書
- ☆ 百合学院70周年記念行事
- ☆ 聞かせてください「神と出会った時のこと」

「教区報」原稿・資料等の締切は前々月末です。

# 東日本大震災から復興支援13年 カリタス大船渡ベース閉所



大船渡ベース感謝ミサに参列した全員が顔を合わせる

高松補佐司、酒井俊弘、名古屋司教、喜直京都司、松浦悟郎、大塚

2025年3月31日、カリタス大船渡ベースは閉所することとなった。2012年1月14日に開所してから13年間、多くのスタッフとボランティアによって支えられ歩んできた。ベース長は池田雄一神父から始まり、アントニウス・ハルノコ神父、Sr吉澤たき子、エドガル・ガクタン司教、菅原圭一さんと続いた。スタッフは、被災地外から6人続いた後に、ニーズの変化とともに地元スタッフへ移行していった。シスターの力も大きく、ボランティアとの繋がりが、ベースの雰囲気作り、訪問

活動と幅広い活躍だった。長期で滞在しているからこそ生まれる関係性が訪問活動を広げていった。ボランティアは、総人数2109人(男性718人/女性1391人)がベースに登録をして東日本大震災からの復興支援に携わってきた。ボランティアのバックグラウンドには、彼らを送り出し安全に活動できるように寄り添った多くの人の祈りと支えがあった。大船渡ベースの13年間の歩みを感じて、2025



大船渡ベーススタッフに感謝を込めて

船渡ベース地ノ森いこの家」で閉所式が行われた。司教たちの挨拶やこれまでの活動写真のスライドショーを見ながら懐かしい思い出がよみがえった。スタッフ代表として菅原圭一ベース長が、スタッフへの感謝、ボランティアへの感謝、これまでの支援への感謝を伝え、失ったもの以上に得たものが大きかったことを涙で声を震わせながら伝える姿が印象的だった。

津波で流され何もなくなつた町の中で、黄色のビブス(ゼッケン)が目印となりカリタス大船渡ベースの活動の輪が広がっていった。そと寄り添いながら祈りとボランティアの交わりによって、大きな恵みを13年間の活動の中で得ることとなった。ベースという地域とのつながりの拠点はなくなるとしても、一人ひとりが新たな形での繋がりをもちつて関わっていきける新たな出発の日となった。

(文 広報委員会)

## (一社)26 聖人聖画等プロジェクト

### 時を超えてよみがえる信仰の記憶



バチカン美術館で保管されていた、日本二十六聖人画のうち2枚の展示が6月15日から聖マリア大聖堂で始まった。

岡山聖虚の名を知る人は5、6年前までほとんどいませんでした。私自身もその一人でしたが、長崎のある家で彼が描いた聖母子像の掛け軸を目にし、深い感動を覚えました。その絵には人の心を引きつける不思議な魅力がありました。調べてみると、彼はミッションスクールで美術教師として生涯を送りながら、自らの創作活動を続けていた人物であることがわかりました。その中でも特に、日本二十六聖人を題材にした掛け軸を15年の歳月をかけて制作し、時のローマ教皇に献上したことが際立っています。

その掛け軸は1931年にバチカン美術館に収蔵されてから約95年が経過しました。しかし、日本の高温湿度の気候とは異なる乾燥したヨーロッパの環境下で、予想外の劣化が進んでいました。25年前にこの劣化を知った人がローマへ赴き、

修復を試みましたが、膨大な費用のために断念せざるを得ませんでした。その間も劣化は進み、今や緊急の対応が求められています。

そこで、前田枢機卿様を中心に「一般社団法人26 聖人聖画等プロジェクト」が発足しました。バチカン美術館に掛け軸の修復と里帰りを願ったのです。今年の5月には小聖堂で二十六聖人記念館館長デ・ルカ・レンゾ神父さまを招き、「日本26 聖人が歩んだ道」についての講演会を開催しました。さらに、ご遺族のご厚意により、大作『聖フランシスコ』や『ピリオン神父』を、真面教会からは『聖パウロ三木』の肖像画を貸していただきパウロの部屋を展示室に改修しました。そして、『聖ディエゴ喜斎』と『聖フランシスコ吉』の原画2点が里帰りし、展示会開催となりました。資金、修復作業、交渉と、課題は山積んでいます。しかし、皆さまの支えがある限り、必ずやり遂げたいと考えています。

(文 26 聖人聖画等プロジェクト)



左「聖ディエゴ喜斎」/右「聖フランシスコ吉」

展示場所: 大阪高松聖マリア大聖堂 (正面入口 右側パウロの部屋)  
展示期間: 6月15日～9月15日まで  
\*入場無料(自由献金)  
展示室開場日時: 火・木・土・日曜日 (10:00～12:00 / 15:00～18:00)  
〈その他詳細は、教区本部事務局に問い合わせください〉  
TEL 06-6941-9700

## 主催:大阪高松教区 障がい者委員会

### 「病者・障がい者と ともに歩むミサ」と交流会

日時: 2025年9月23日(火曜日・祝日)

午後1時～

場所: 共同司教座聖堂 桜町教会

(高松市桜町1-8-9)

手話通訳・字幕表示がつかます

ミサはYouTube同時配信

交流会はZoom配信予定

主司式: 前田万葉大司教



「障がい者委員会」dis@osk.catholic.jp  
までお問い合わせください」  
\*「ミサ関係者と障がい者・ヘルパーの方のために、当日大阪カテドラルから高松桜町教会・コンカテドラルまでのバスをチャーターいたします。」

2025年 地区長・委員長担当者・小教区ブロック司牧人事表

Table with 4 columns: 地区, 地区長名, 地区, 地区長名. Lists regional leaders for various areas like 姫路, 神戸, 阪神, etc.

2025年度 小教区ブロック司牧人事表

\*委員会等担当一覧表は3面へ

Main table with 4 columns: 地区, ブロック, 小教区, and a multi-column area for names and roles. Detailed list of parish and block leaders for 2025.

\* 7月1日現在



幾多の試練のうちにも、  
大いなる恵みに支えられて

修道院聖堂

5月12日シトー会西宮聖母修道院で酒井俊弘補佐司教と藤原直達神父の共同司式により、創立90年記念ミサが執り行われた。

# 厳律シトー会創立90年記念ミサ

5月12日シトー会西宮聖母修道院で酒井俊弘補佐司教と藤原直達神父の共同司式により、創立90年記念ミサが執り行われた。



会員数が少なく、ほんの内輪ではありますが近隣の友人方を含め約25人の方がお越しくださいました。幾多の試練のうちにも、大いなる恵みに支えられて90年を迎えられたことを感謝し、わたしたちを覚え、祈ってください多くの友人、恩人知人方に思いを馳せてミサを捧げました。酒井司教のお説教では「感謝」ということを基調にして、観想会の祈りの使命などをお話しくださいました。また、シトー会の聖ベルナルドの守護の天使のエピソードもユーモアを交えてご紹介くださいました。

ご参加くださった方がたからは、「久しぶりに\*『テ・デウム』が歌われて良かった」「シスターの姿を見て身の引き締まる思いがした」「自分たちもより頑張っていこうと決意をあらたにすることができました」などの感想をいただきました。これからも小さい者ではありますが力が合わせて、心を



修道院外観

カトリック大阪高松教区 委員会及び諸活動 (2024.6~2026.5)				
福音化本部	教区宣教司牧評議会運営委員会	部長	前田 万葉	
	社会福音化委員会 (シノドス担当チーム)	担当	大久保 武	
	教区本部事務局	委員長	ヌノ・デ・リマ	
		事務局	局長	崔周永
		教区監査チーム担当	担当	川邨 裕明・酒井 淳
		サクラ ファミリア	施設長	崔周永
	カーザ ファミリア	施設長	春名 昌哉	
	広報委員会	委員長	川邨 裕明	
	ハラメント対応委員会	委員長	松浦 信行	
	災害対策委員会	委員長	崔周永	
一粒会委員会	担当	高山 徹・竹延 真治		
新司祭・神学生養成委員会	委員長	高山 徹		
教会福音化部門	典礼委員会	部門長	酒井 俊弘	
	列聖推進委員会	委員長	野田 正弘	
	使徒職養成委員会	委員長	春名 昌哉	
	国内移動者委員会	委員長	和越 敏	
	カトリック教育推進委員会	委員長	赤窄 富夫	
	諸宗教対話委員会	委員長	高島 政行	
	エキュメニズム委員会	委員長	ロッコ・ビビアーノ	
	青少年司牧委員会	委員長	ロッコ・ビビアーノ	
	委員会	委員長	春名 昌哉	
	委員会	委員長	酒井 俊弘	
社会福音化部門	社会活動センターシナピス (社会福音化部門事務局)	センター長	松浦 謙	
	障がい者委員会	委員長	石井 望	
	日本カトリック正義と平和協議会	担当	松浦 謙	
	カリタスジャパン	担当	松永 敦 アントニオ・オソリオ	
	日本カトリック難民移住移動者委員会	担当	ホルヘ・ソーザ	
	部落差別人権委員会	担当	長崎 壮	
	外国語司牧	責任者	デンニ・ワユディ	
		英語	担当	セサル・ボルメント
		ベトナム語	担当	ドミニコ グェン クォク トゥアン
		スペイン語	担当	ヘスス・マリア・モラレス
インドネシア語		担当	デンニ・ワユディ	
ポルトガル語	担当	イポリト・ヴィタ		
韓国語	担当	安旻祐		
船員司牧	担当	エリック・パウチスタ・デ・グスマン サワリムットウ・スティフェン		

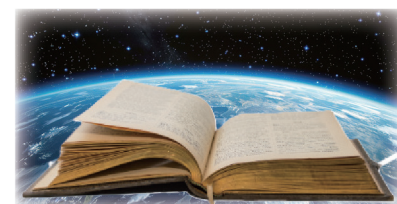
\* 聖年・万博委員会 (~2025年末まで)



## Six Catholics received Sacrament of Confirmation

### 6人のカトリック信者が堅信の秘跡を受ける

2025年5月4日、桜町英語ミサ共同体の6人が堅信の秘跡を受けた。



Six members of the Sakuramachi English Mass Community received the Sacrament of Confirmation last May 4th, 2025.

The confirmation was given by Most Revered Paul Toshihiro Sakai, Auxiliary Bishop of Metropolitan Archdiocese of Osaka-Takamatsu. He was joined by Fr. Savarimuthu Stephen, O.M.I (Steve) English Mass priest.

In his homily, Bishop Sakai inspired and challenged the community to live faithfully as Catholics in Japan. He emphasized the way how the saints lived their lives for the glory of God. He pointed out that, as Catholics, we can do simple and small things to be holy servants of Jesus.

This was the first time that the English Mass community at Sakuramachi Church had the Sacrament of Confirmation. It was also the first time Bishop Sakai celebrated the English Mass. Fr. Steve was very glad that we could do something like this and he hoped that more activities like this will happen in the future.

One of the members who received confirmation said she was happy to receive the confirmation after some weeks of catechism.



<日本語略訳>

パウロ酒井俊弘補佐司教とオブレート会のサワリムットウ・スティフェン (スティーブ) 神父が共同司式ミサを行った。

酒井司教は説教の中で、日本に住むカトリック信者として忠実に生きるという課題を示し、共同体を鼓舞された。聖人たちがいかに神の栄光のために生きたかを強調し、カトリック信者である私たちは、イエスの聖なる僕となるために、単純で小さなことをすることができると指摘した。

桜町教会の英語ミサ共同体が英語による堅信の秘跡のミサを受けたのはこれが初めてであった。スティーブ神父は、このようなことができたことをとても喜び、今後もこのような活動が行われることを願った。

今回受堅したメンバーの一人は、「数週間にわたってカテキズムを学び、秘跡を受けたことはとても嬉しい」と語った。

# 大阪高松大司教区 2024年度 小教区会計収支計算書

## 〔収入の部〕

単位：円 (自2024年4月1日 至2025年3月31日)

科目	教区小教区合計 (%)	修道会小教区合計 (%)	小教区総計 (%)
<b>経常収入の部</b>	<b>1,047,769,021 42.3</b>	<b>163,890,946 43.9</b>	<b>1,211,659,967 42.5</b>
信徒通常献金収入	402,517,806 16.3	80,257,458 21.5	482,775,264 17.0
教会維持献金	244,276,470	53,968,200	298,244,670
ミサ聖祭献金	138,342,634	20,742,876	159,085,510
大祝日(特別)献金	19,898,702	5,546,382	25,445,084
<b>特定献金収入</b>	<b>51,187,663 2.1</b>	<b>9,085,269 2.4</b>	<b>60,272,932 2.1</b>
世界子ども助け合いの日献金	3,365,462	530,333	3,895,795
聖地のための献金	6,000	30,698	36,698
四旬節愛の献金	2,333,173	369,960	2,703,133
世界広報の日献金	2,024,947	393,618	2,418,565
聖ペトロ使徒座への献金	1,901,758	358,137	2,259,895
世界難民移住移動者の日献金	2,195,187	444,298	2,639,485
世界宣教の日献金	2,008,958	453,735	2,462,693
宣教地召命促進の日献金	2,129,265	347,522	2,476,787
一粒会献金	28,674,822	5,113,150	33,787,972
新教会建設献金	1,991,136	339,473	2,330,609
カンボジア教会の日献金	1,812,641	399,954	2,212,595
すべてのいのちを守る献金	2,744,314	304,391	3,048,705
<b>特別献金収入</b>	<b>340,329,980 13.8</b>	<b>68,898,771 18.5</b>	<b>409,228,751 14.4</b>
祭式献金	70,167,066	14,820,075	84,987,141
一般特別献金	82,608,313	16,653,554	99,261,867
営繕献金	114,851,671	18,151,278	133,002,949
建設献金	58,426,043	14,910,800	73,336,843
墓地納骨堂建設献金	38,428	750,000	788,428
特別事業献金	7,644,658	2,809,064	10,453,722
共同司牧収入	6,593,801	804,000	7,397,801
<b>助成金収入</b>	<b>14,466,799 0.6</b>	<b>646,800 0.2</b>	<b>15,113,599 0.5</b>
教区助成金	14,286,799	0	14,286,799
修道会助成金	180,000	646,800	826,800
<b>納骨堂等収入</b>	<b>22,692,158 0.9</b>	<b>2,418,000 0.6</b>	<b>25,110,158 0.9</b>
非課税永代使用料収入	6,215,000	300,000	6,515,000
課税永代使用料収入	7,289,000	0	7,289,000
管理料収入	6,674,958	18,000	6,692,958
その他納骨堂等収入	2,513,200	2,100,000	4,613,200
<b>補助活動収入</b>	<b>9,027,685 0.4</b>	<b>1,274,877 0.3</b>	<b>10,302,562 0.4</b>
行事収入	4,606,937	853,025	5,459,962
受託販売手数料収入	199,670	57,864	257,534
課税事業収入	2,248,132	42,000	2,290,132
非課税事業収入	1,972,946	321,988	2,294,934
<b>雑収入</b>	<b>196,827,837 8.0</b>	<b>148,776 0.0</b>	<b>196,976,613 6.9</b>
課税雑収入	614,090	140,747	754,837
非課税雑収入	196,213,747	8,029	196,221,776
<b>事業収入</b>	<b>10,719,093 0.4</b>	<b>1,160,995 0.3</b>	<b>11,880,088 0.4</b>
受取利息配当金	1,794,175	1,115,995	2,910,170
施設利用料収入	8,924,918	45,000	8,969,918
<b>財務収入の部</b>	<b>503,478,219 20.3</b>	<b>45,029,545 12.1</b>	<b>548,507,764 19.3</b>
<b>固定資産収入</b>	<b>192,245,423 7.8</b>	<b>42,011,318 11.3</b>	<b>234,256,741 8.2</b>
車両売却収入	0	0	0
器具備品売却収入	141,900	0	141,900
電話加入権売却収入	0	0	0
特別目的預金取崩収入	168,103,523	42,011,318	210,114,841
本部預け金返還収入	24,000,000	0	24,000,000
<b>固定負債収入</b>	<b>0 0.0</b>	<b>0 0.0</b>	<b>0 0.0</b>
長期借入金収入	0	0	0
<b>その他の財務収入</b>	<b>311,232,796 12.6</b>	<b>3,018,227 0.8</b>	<b>314,251,023 11.0</b>
未収入金収入	280,000,000	0	280,000,000
立替金回収収入	1,994,756	550,579	2,545,335
仮払金回収収入	22,357,569	985,145	23,342,714
預り金収入	2,722,535	1,266,109	3,988,644
仮受金収入	4,157,936	216,394	4,374,330
<b>資金調整勘定</b>	<b>0 0.0</b>	<b>0 0.0</b>	<b>0 0.0</b>
期末未収入金	0	0	0
<b>収入計</b>	<b>1,551,247,240 62.7</b>	<b>208,920,491 56.0</b>	<b>1,760,167,731 61.8</b>
<b>前期繰越金</b>	<b>923,432,762 37.3</b>	<b>164,463,441 44.0</b>	<b>1,087,896,203 38.2</b>
<b>収入の部合計</b>	<b>2,474,680,002 100.0</b>	<b>373,383,932 100.0</b>	<b>2,848,063,934 100.0</b>

## 〔支出の部〕

科目	教区小教区合計 (%)	修道会小教区合計 (%)	小教区総計 (%)
<b>経常支出の部</b>	<b>1,191,559,838 48.2</b>	<b>191,674,937 51.3</b>	<b>1,383,234,775 48.6</b>
<b>宣教司牧費</b>	<b>92,586,405 3.7</b>	<b>21,021,106 5.6</b>	<b>113,607,511 4.0</b>
祭司儀費	30,290,486	6,958,124	37,248,610
牧費	568,552	1,088,342	1,656,894
委員会活動費	1,035,610	1,085,312	2,120,922
宣教広報費	1,349,317	435,023	1,784,340
教育養成費	208,969	91,622	300,591
青少年育成費	6,757,647	1,268,979	8,026,626
青年育成費	4,101,853	1,730,676	5,832,529
新聞図書費	5,614,353	1,080,574	6,694,927
新会議費	9,188,623	1,577,920	10,766,543
慶弔費	3,931,887	701,286	4,633,173
援助費	19,628,957	4,597,434	24,226,391
諸会費	474,697	58,710	533,407
共同司牧費	9,435,454	915,656	10,351,110
<b>特定献金支出</b>	<b>51,701,407 2.1</b>	<b>8,734,608 2.3</b>	<b>60,436,015 2.1</b>
世界子ども助け合いの日献金	3,549,676	530,333	4,080,009
聖地のための献金	6,000	67,537	73,537
四旬節愛の献金	2,450,860	375,460	2,826,320
世界広報の日献金	2,024,947	393,618	2,418,565
聖ペトロ使徒座への献金	1,901,758	358,137	2,259,895
世界難民移住移動者の日献金	2,195,187	444,298	2,639,485
世界宣教の日献金	2,008,958	453,735	2,462,693
宣教地召命促進の日献金	2,129,265	347,522	2,476,787
一粒会献金	28,886,665	4,720,150	33,606,815
新教会建設献金	1,991,136	339,473	2,330,609
<b>資金調整勘定</b>	<b>-8,735,354 -0.4</b>	<b>-212,320 -0.1</b>	<b>-8,947,674 -0.3</b>
前期末前払金	0	0	0
期末未払金	-8,735,354	-212,320	-8,947,674
<b>支出計</b>	<b>1,553,466,122 62.8</b>	<b>240,168,250 64.3</b>	<b>1,793,634,372 63.0</b>
<b>次期繰越金</b>	<b>921,213,880 37.2</b>	<b>133,215,682 35.7</b>	<b>1,054,429,562 37.0</b>
<b>支出の部合計</b>	<b>2,474,680,002 100.0</b>	<b>373,383,932 100.0</b>	<b>2,848,063,934 100.0</b>

## 教区会計決算報告

2024年度カトリック大阪高松大司教区決算は、5月28日(水)の責任役員会にて承認されました。

### 【小教区会計について】

2025年3月末の現預金残高は、約22億3,900万円(前年比3億9,925万円増)となりました。大幅な資金増加の要因は、合併により旧高松司教区の現預金約3億3,400万円が加わったこと、多額の遺贈金があったこと、修繕・建設献金など多く集めた小教区があったことなどが考えられます。信徒通常献金は、旧大阪大司教区では前年比約△1,068万円、旧高松司教区約△379万円と大きく落ち込みましたが、ミサ聖祭献金だけは旧大阪大司教区約825万円、旧高松司教区約98万円の増加となりました。教会維持献金や大祝日献金の減少は負担する信徒数が減り、ミサ聖祭献金の増加は外国信徒が増えたためとみられています。

### 【一粒会会計について】

この資金収支計算書は5月24日一粒会委員会で承認されました。献金収入は、約3,438万円で、旧大阪大司教区のみ前年より合併後の2024年度は約50万円の減少となりました。一粒会献金は養成費として神学生4人の教育費と3人の司祭の日本語学校費用、運営分担金(神学院費用)、ベトナム訪問や東京カトリック神学院訪問などの交通費などに使われました。また養成援助費として、教区内の5宣教会・修道会の神学生の支援と仁豊野ヴィラへの援助をいたしました。単年度では約976万円の黒字になりましたが、老朽化が進む仁豊野ヴィラでは修繕費支援の増額が見込まれています。今後も司祭の召命を求める祈りと献金をどうぞよろしく願います。

(教区本部事務局 経理課)

科目	教区小教区合計 (%)	修道会小教区合計 (%)	小教区総計 (%)
カンボジア教会の日献金	1,812,641	399,954	2,212,595
すべてのいのちを守る献金	2,744,314	304,391	3,048,705
<b>納付金支出</b>	<b>516,494,696 20.9</b>	<b>52,175,051 14.0</b>	<b>568,669,747 20.0</b>
教区納付金(A)	37,685,000	6,661,000	44,346,000
教区納付金(B)	189,123,600	35,187,600	224,311,200
教区納付金(C)	29,994,632	0	29,994,632
教区納付金(D)	21,143,687	0	21,143,687
修道会納付金支出	711,000	10,326,451	11,037,451
建設分担金支出	237,836,777	0	237,836,777
<b>運営管理費</b>	<b>224,631,500 9.1</b>	<b>109,447,294 29.3</b>	<b>334,078,794 11.7</b>
雑福利事務一消耗通旅自水道接保清修園公損支雑	9,082,195 83,420 9,154,120 9,376,457 13,318,806 14,939,435 2,004,363 2,524,406 65,873,124 107,887 14,466,300 3,157,900 48,893,757 5,455,866 3,517,554 18,406,881 4,139,529 129,500	7,096,968 0 1,685,717 2,035,006 2,596,197 2,402,594 284,816 333,133 14,416,705 0 3,481,342 2,320,427 69,651,952 768,506 3,411 1,463,565 330,831 576,124	16,179,163 83,420 10,839,837 11,411,463 15,915,003 17,342,029 2,289,179 2,857,539 80,289,829 107,887 17,947,642 5,478,327 118,545,709 6,224,372 3,520,965 19,870,446 4,470,360 4,705,624
<b>補助活動支出</b>	<b>4,240,642 0.2</b>	<b>268,078 0.1</b>	<b>4,508,720 0.2</b>
課税事業支出	1,756,994	0	1,756,994
非課税事業支出	638,957	268,078	907,035
行事支出	1,844,691	0	1,844,691
<b>納骨堂等管理支出</b>	<b>1,942,033 0.1</b>	<b>28,800 0.0</b>	<b>1,970,833 0.1</b>
納骨堂等管理支出	1,942,033	28,800	1,970,833
<b>雑損失</b>	<b>299,963,155 12.1</b>	<b>0 0.0</b>	<b>299,963,155 10.5</b>
課税雑損失	1,552,906	0	1,552,906
非課税雑損失	298,410,249	0	298,410,249
<b>財務支出の部</b>	<b>361,906,284 14.6</b>	<b>48,493,313 13.0</b>	<b>410,399,597 14.4</b>
<b>固定資産支出</b>	<b>318,708,353 12.9</b>	<b>44,063,439 18.3</b>	<b>362,771,792 12.7</b>
建物付属設備購入支出	53,920,988	10,395,000	64,315,988
構築物購入支出	10,290,292	39,930	10,330,222
祭儀備品購入支出	626,436	260,700	887,136
器具備品購入支出	23,704,741	1,127,890	24,832,631
車両購入支出	0	0	0
電話加入権取得支出	0	0	0
墓地使用权取得支出	0	50,000	50,000
特別目的預金積立支出	230,165,896	32,189,919	262,355,815
本部預け金支出	0	0	0
<b>固定負債支出</b>	<b>14,710,000 0.6</b>	<b>0 0.0</b>	<b>14,710,000 0.5</b>
長期借入金返済支出	14,710,000	0	14,710,000
<b>その他の財務支出</b>	<b>37,223,285 1.5</b>	<b>4,642,194 1.2</b>	<b>41,865,479 1.5</b>
立替金支出	1,988,756	494,635	2,483,391
仮払金支出	11,004,414	1,161,864	12,166,278
短期借入金返済支出	0	0	0
未払金支出	14,258,240	1,729,192	15,987,432
預り金支出	5,813,939	1,040,109	6,854,048
仮受金返還支出	4,157,936	216,394	4,374,330
<b>資金調整勘定</b>	<b>-8,735,354 -0.4</b>	<b>-212,320 -0.1</b>	<b>-8,947,674 -0.3</b>
前期末前払金	0	0	0
期末未払金	-8,735,354	-212,320	-8,947,674
<b>支出計</b>	<b>1,553,466,122 62.8</b>	<b>240,168,250 64.3</b>	<b>1,793,634,372 63.0</b>
<b>次期繰越金</b>	<b>921,213,880 37.2</b>	<b>133,215,682 35.7</b>	<b>1,054,429,562 37.0</b>
<b>支出の部合計</b>	<b>2,474,680,002 100.0</b>	<b>373,383,932 100.0</b>	<b>2,848,063,934 100.0</b>





## 百合学院 創立70周年記念式典・感謝ミサ 受け継ぐ精神、輝く未来へ

式典は、中学・高等学校校長 脇田高史の指揮による弦楽合奏『威風堂々』(アンサンブル部)で幕を開けた。続いて、第8代理事長であり幼稚園園長でもある Sr 鈴木百合子によるスライドショー(「百合学院の息づかい」)では、創立者田口芳五郎枢機卿の熱い想いと百合学院創立の原点を振り返りながら今の百合学院の様子を報告した。また、園児や児童による歌唱、チアダンス部の躍動感あふれるパフォーマンス、アンサンブル部によるハンドベルの繊細な演奏が続き、どれも日々の努力がうかがえる

内容であった。神の恵みの年である聖年に創立70周年を迎えられ、さらに、母なる教会も新たな教皇さまをお迎えしたことを、期せずして学院の、新たな歩みへの神さまからの期待と支えのしるしとして受け止め、百合学院はより一層の輝きを求めて歩んでいく。式典後は、大阪高松大司教区 酒井俊弘補佐司教と阪神地区の司祭団による感謝ミサが厳かに執り行われた。会場は静けさと敬虔な空気に包まれ、創立者の思いに立ち返りながら、在校生や教職員、これまで学院に携わったすべての人

5月1日、天候に恵まれ百合学院は創立70周年を記念する式典と感謝ミサを、セシリアホールで盛大に開催した。在校生や教職員、来賓、そして幼稚園児も加わり、500人以上がこの節目を共に祝い、喜びを分かち合った。



両校を含め、近畿カトリック学校連盟の宗教科教員の有志は、宗教教育研究会などを通じて、授業実践や宗教行事、ボランティア活動について分かち合いを続けてきた。今回、両校が前後してボランティアに向かうことも、そのような交流の中で知ったことである。同じ時期に同じ場所ですら、ボランティアに取り組んだ生徒同士のボランティア報

告会、分かち合いを通じて、支援の輪の広がりとカトリック学校の生徒の成長を願う気持ちから、今回の交流会の運びとなった。宗教教育研究会でも会場を提供しているサクラファミリアに、4月19日の聖土曜日の午後、両校の生徒が集まった。〈生徒の感想〉

最初は少し堅苦しい雰囲気だったのですが、活動報告を通して輪島で同じおばあちゃんに出会っていたり、同じ場所で活動していたりがわかると、その後の会話は弾みました。家の片付けにしても、物資配布会にしても「自分たちの前に作業を行った人たちがいる」という発言を通じて人と人とのつながりを実感しました。

宗教科の授業や祈り・典礼を通じて養われた心が実りとなって、ボランティア活動などに広がっていくようにこれからも生徒を支えていきたい、と両校の教員も活動の意義を話し合った。

### 仁川学院・明星高等学校 交流会 能登半島地震ボランティアを分かち合う

春休み、仁川学院高等学校(兵庫県西宮市)と明星高等学校(大阪府大阪市)は、期間を前後して、能登地震災害支援のため、カリタスジャパンの支援する「カリタスのとサポートセンター」(名古屋司教区)を通じて、それぞれ七尾ベースと羽咋ベースに宿泊しながらボランティア活動に取り組んだ。



被災家屋を片付ける生徒たち

両校の生徒が、同じ方々に出会い、同じ場所で活動したからこそ得られた深い気づきがありました。両親が阪神・淡路大震災に被災したことを分かち合うと能登の方々もこちらのことを心配していただきました。「人の痛みがわかる人」に私もなりたいたいと思いました。



アンサンブル部による弦楽合奏『威風堂々』

びとへの神の導きと祝福があるように祈りを込めて、希望のうちにささげられた。(文 理事長 小山一)

## 能登半島に笑いと笑顔を 芦屋教会で落語会

能登半島の地震と豪雨の被災地に笑いと笑顔を届け、心にエネルギーを伝えようと、その趣旨に賛同する団体、個人が結集して5月10日、芦屋教会で落語会とマルシェが開催された。

このチャリティ落語会は、三代目桂春蝶さんの呼びかけで、8月に能登半島3カ所で4公演の落語会を開催するための資金となる義援金を集めるために行われた。

11時から配られる整理券に長い列ができた。参加者は、能登出身の料理家による能登の食材を使ったランチボックスを味わい、輪島の朝市から届いた物産を購入するなど、マルシェを楽しんだ。また、マジック、漫才、歌のステージ、甲南女子大の学生によるハンドトリートメントや関西大学有志のハーブティーの試飲と販売なども行われ、会場を盛り上げた。

午後からは、日本とトルコの間で起きた実話をもとに、助け合う素晴らしさを伝える噺、「約束の海 エルトゥールル号物語」が公演され、熱演する桂春蝶さんに、涙しながら聞き入る人もいた。

このイベントを中心に集まった130万円を超える義援金で、カリタス金沢ベースと協力しながら、輪島、七尾、珠洲でチャリティ落語会が、8月後半に開催される予定とのこと。

(文 川郵裕明)

♪ライブ演奏♪

ランチボックス(食材は能登産)

関西大学有志のハーブティー提供

甲南女子大学ハンドトリートメント

### 落語会&マルシェ

## 宇和島教会・八幡浜教会交流会

# 信仰と交流の歩み、途切れずに

4月27日、赤波江豊神父の着任を祝うとともに、1989年から続く2教会合同交流会が八幡浜市で、開催された。宇和島教会と八幡浜教会から約40人が参加し、野外ミサに加え、バーベキューや石窯で焼いたピザを囲むパーティーが催された。



周囲に人家がなく、静かなミサが行われた

この交流会は、コロナ禍による中断を除けば30年以上続く恒例行事である。今年は日本人信徒に加え、フィリピン人の家族やベトナム人青年たちも参加し、多文化な交流が見られた。長らく萎縮していた交流の芽が再び息を吹き返したことを感じさせる、意義深い一日であった。

当日は天候にも恵まれ、銀杏の大きき木が心地よい木陰をつくり、爽やかなそよ風と「鶯のさえずり」が場を和ませた。参加者は声を張り上げて聖歌を歌い、自然の中で野外ミサを体験した後、開放感あふれる野外の食卓を囲んだ。最後には、主催者の自家農園で採れた甘夏が土産として配られた。南予・愛南町まで2時間をかけて帰路についた参加者の中には、礼状の中で「鶯のさえずりの中でのミサに心が洗われた」と感謝の言葉を綴った信徒もいたという。祈りと交流に満ちたこの集いは、地域の教会にとって新たな希望のしるしとなった。



ベトナム青年たちはバーベキューを担当した  
(文 愛媛地区広報委員 清水裕子)

## 四国地区子ども&中高生の集い

# 6年ぶりの歓声が響く

4月29日、カトリック三本松教会(香川県)と同所にある霊性センターで、「四国地区子ども&中高生の集い」が開催された。



祈りとともに「みんな家族、1つの食卓・いのち」を体験

旧高松教区では、1989年にスタートした「家庭と召命の日」という行事がある。教区内の子どもたちが集まり、テーマに沿って活動するこの集いは、名称を「子ども&中高生の集い」と変え30年以上にわたって続けられてきたが、コロナ禍をきっかけに2020年以降中止

されていて、6年ぶりの開催となる。11時から16時までのシンプルな日帰りプランで、今年のテーマは「みんな家族・1つの食卓・いのち」。当日は、四国各地から小中高生、青年、保護者、運営スタッフ等あわせて約30人が集まり、昼食はお肉たっぷりのバーベキュー、佐々木明世先生(こどもの育ち研究所)に指導いただいた楽しいレクリエーション、松浦信行神父・高山徹神父・トマス・ティアゴ神父・西川康廣助祭と一緒にささげたミサと、夕方までの数時間があっという間に過ぎていった。



つながる「子ども&中高生の集い」

雲一つない快晴に恵まれ、里山の新緑に包まれた子どもたちは、「ポップコーンを作るのが楽しかった」、「みんなで遊んだのが楽しかった」、「バーベキューがおいしかった」……とそれぞれ楽しい時間を持てたようだ。

(文 香川地区広報委員 長谷川聖)

「あなたがたは行って、すべての民をわたしの弟子にしなさい。彼らに父と子と聖霊の名によって洗礼を授け、あなたがたに命じておいたことをすべて守るように教えなさい」(マタイ28・19-20)。

子どもの頃ミサの中でこの言葉を聞いた時、宣教師になりたいと思いました。私にとって子どもの頃からの一番の夢は、宣教師になって福音を宣べ伝えることでした。

2005年に淳心会に入り、2010年に初誓願を立てました。その後4年間はカメルーンで神学を学び、神学生3年の時、宣教師のリストから自分が行きたい国を選びました。スペイン語を話すことができたので、南米で宣教活動をするのが夢でしたが、リストにはアジアの国が多かったです。アジアで宣教活動する司祭からは、言葉の問題があり、難しいと聞いていました。祈りのうちに日本を含む3つの国を選びました。神学校の卒業前に総長から任命を受け、2014年の9月に日本に派遣されました。

信徒の皆さんのたくさんのサポートがあり、言葉と文化など多くのことを学びました。本の虫である私は、教皇様の使徒的勧告などを日本語で読みました。知らない言葉に出会うと、皆さんがいつも手伝ってくださいました。言葉の難しさを感じた時は、第二バチカン公会議の言葉を思い出しました。「宣教師は言語を楽にまた的確に使用できる程度に修得すべきである」(教会の宣教活動に関する教令26)。この言葉に励まされながら、日本語の勉強に毎日孤軍奮闘しておりました。2017年に33歳で終生誓

願を立てた後、宝塚教会で助祭叙階し、2018年4月28日、コンゴ民主共和国で司祭の喜びの日に、およそ2千人の方々が集まり盛大に祝ってくださいました。小教区の方々や私の家族、友人の温かい歓迎、そしてやさしさと情熱がとても心に残っています。司祭叙階された日からコンゴ滞在の間、色んな教会で初ミサを捧げました。多くの方々が主に願ってくださいました。良い牧者であるイエスの霊が私を導いてくださるようというのでした。遠いアジアで、宣教師として派遣される私のために祈ってくださいました。イエス・キリストの素晴らしい模範になれるよう、コンゴだけでなく日本でも、多くの方々が私のために祈りを捧げてくださりました。派遣前、何を日本に持って

行くべきかと迷っていた時、イエスの言葉を思い出しました。「帯の中に金貨も銀貨も銅貨も入れて行ってはならない。旅には袋も二枚の下着も履物も杖も持って行ってはならない。働く者が食べ物を受けるのは当然である」(マタイ10・9-10)。

現代の私たち宣教師にもこの言葉が向けられています。食べ物や心が心配していましたが、信徒の皆さんが私の好きな物を持ってきてくださるし、とても美味しい料理を作ってくださいました。当時、私が着るようなビックサイズは服はありませんでしたが、今はたくさんあります。神さまに全てを任せ、優先するのは「イエスを宣べ伝える」ことです。

「全世界に行って、すべての民をわたしの弟子を宣べ伝えること。これこそが私の使命です。福音の喜びを宣べ伝えるために多くの宣教師が日本に遣わされました。私もこのように宣教師の一員であることを誇りに思います。神さまの力をいつも祈りの中で願い求めながら、信徒の皆さんと一緒に、信仰の道を歩むことができる司祭になりたいと願っております。

「全世界に行って、すべての民をわたしの弟子を宣べ伝えること。これこそが私の使命です。福音の喜びを宣べ伝えるために多くの宣教師が日本に遣わされました。私もこのように宣教師の一員であることを誇りに思います。神さまの力をいつも祈りの中で願い求めながら、信徒の皆さんと一緒に、信仰の道を歩むことができる司祭になりたいと願っております。」(マルコ16・15)

松浦信行神父(教区)の母、マリア松浦明子さんは5月21日、帰天。94歳。

## 訃報



## 聞かせてください 神さまと出会った時のこと

### 〜エマオへの道で〜

#### 第15回 ジャンマリ・カゼンガ神父

(淳心会・大阪南地区堺ブロック)

日本に来てすぐ、淳心会のふるさとである金剛教会に来ました。最初は日本語の勉強に大変苦しみました。信徒の皆さんのたくさんのサポートがあり、言葉と文化など多くのことを学びました。本の虫である私は、教皇様の使徒的勧告などを日本語で読みました。知らない言葉に出会うと、皆さんがいつも手伝ってくださりました。言葉の難しさを感じた時は、第二バチカン公会議の言葉を思い出しました。「宣教師は言語を楽にまた的確に使用できる程度に修得すべきである」(教会の宣教活動に関する教令26)。この言葉に励まされながら、日本語の勉強に毎日孤軍奮闘しておりました。2017年に33歳で終生誓願を立てた後、宝塚教会で助祭叙階し、2018年4月28日、コンゴ民主共和国で司祭の喜びの日に、およそ2千人の方々が集まり盛大に祝ってくださいました。小教区の方々や私の家族、友人の温かい歓迎、そしてやさしさと情熱がとても心に残っています。司祭叙階された日からコンゴ滞在の間、色んな教会で初ミサを捧げました。多くの方々が主に願ってくださいました。良い牧者であるイエスの霊が私を導いてくださるようというのでした。遠いアジアで、宣教師として派遣される私のために祈ってくださいました。イエス・キリストの素晴らしい模範になれるよう、コンゴだけでなく日本でも、多くの方々が私のために祈りを捧げてくださりました。派遣前、何を日本に持って

大阪のカトリック病院

## ガラシア病院

特徴的な医療  
ホスピス・糖尿病内科  
リハビリ・神経内科  
肝臓内科・循環器内科

医療法人ガラシア会  
理事長 前田万葉 大司教  
チャプレン 松本信愛 神父

看護士 募集中

〒562-8567  
箕面市粟生間谷西 6-14-1  
☎ 072-729-2345

医療法人ガラシア会

## カトリック墓地 納骨堂・納骨所

使用者 募集

大阪高松教区の信者の方のみがお申込みいただけます。詳細は資料をお送りさせていただきます。ほかに、インターネットでもご覧いただけます。

資料請求やお問い合わせは  
教区本部事務局  
総務課 管理部門  
☎ 06-6941-9705

# 来、見なさい



ヨハネ 1・46

※詳細は各主催者へ直接お問い合わせください。

## 教区委員会主催

聖年・万博委員会主催講演会◆「カラヴァッジョの《キリストの埋葬》に見られる古典性と革新性」

講師 木村太郎さん(大阪芸術大学・神戸女学院大学非常勤講師)  
日時 7/20(日)17:00~  
場所 サクラ ファミリア 聖堂  
参加費 無料・自由献金あり  
主催・問 聖年・万博委員会 ☎06-6941-9700

信仰養成連続講座◆カテキズムの第2編「キリスト教の神秘を祝う」

当面休止  
主催・問 使徒職養成委員会 ☎06-6941-9700

## サクラ ファミリア主催

間かせてください 神さまと出会った時のこと~エマオへの道で~◆大阪高松教区で働く司祭・修道者ご自身の体験をきく  
日時 10/6(月)18:00~19:30・10/7(火)10:30~12:00

お話 馬込新吉神父(マリア会・大阪明星学園理事長)

コレーン神父と学ぶ聖書◆「イエスのたとえ話・もう一度・抜粋」

日時 7/14(月)13:30~15:00

和田幹男神父◆聖書研究講

座『主のしもべイエス』  
日時 7/23(水)10:30~12:00

和田幹男神父◆新約聖書ギリシア語(初級)  
日時 7/7・14(月)17:00~18:30

祈りのよる◆灯りをかこみ、ともに祈る静かな時間を  
日時 毎月17日19:00~19:30

問 サクラ ファミリア  
☎06-6225-8871  
✉f.sacra@ostk.catholic.jp

## 結婚準備講座

夙川教会  
日時 9/7(日)~9/28(日) 14:00~15:30(4回)  
参加費 ¥5,000(2名)  
問 ☎0798-22-1649

六甲教会  
日時 9/7(日)~9/28(日) 14:00~16:00(4回)  
参加費 ¥5,000(2名)  
問 ☎078-851-2846  
✉renraku@rokko-catholic.jp  
※事前要問合せ(年2回)

## 黙想会

宝塚黙想の家  
◆日帰り黙想会  
日時 7/24(木)・7/25(金)

10:00~15:30

指導 染野治雄神父(7/24)  
山内十束神父(7/25)  
参加費 ¥3,500

## ◆一泊黙想会

日時 7/18(金)17:00~7/19(土)15:30

指導 染野治雄神父  
参加費 ¥9,000

## ◆カトリック教会のカテキズム

日時 第1・3(水)10:00~12:00  
指導 染野治雄神父  
参加費 ¥1,000

## ◆祈りを深めるための聖書の基本

日時 第1・3(水)10:00~12:00  
指導 山内十束神父  
参加費 ¥1,000

## ◆新約聖書の世界への旅

日時 第1(月)19:00~  
指導 山内十束神父

問 宝塚黙想の家  
☎0797-84-3111

## 講座・研修会

管区部落差別人権活動センター 学習会◆『今日の部落問題の有様と社会』  
講師 黒川 みどりさん  
日時 7/21(月・祝)  
場所 サクラ ファミリア  
問・申込 管区部落差別人権活動センター  
☎075-223-3340  
✉bukatu@kyoto.catholic.jp

## 講座◆小さくされた人々のための福音

日時 第3(金)10:00  
場所 神戸学生青年センター  
参加費 ¥1,000  
主催 神戸国際支縁機構  
問 岩村 ☎070-5045-7127

## 集い

大阪JOC◆働き方や生き方について現状から共に考える15~35歳までの若者の集い

日時 第2(土)14:00~16:00  
場所 大阪YCWセンター(またはZoom)  
問 レネ神父・水元  
☎072-232-8063  
✉osakaycw@gmail.com  
HP http://www.ycw.jp/

要約筆記グループ“エフアタ!”練習会◆教区ミサに要約筆記(文字表示)をつけるボランティア

日時 第2(水)10:00~12:00  
場所 教区本部事務局1階会議室  
問 障がい者委員会  
✉dis@ostk.catholic.jp

精神・発達症(障害)者自助グループ◆オリーブの集い  
守秘義務と分かち合い  
いつ来てもウェルカム  
当日キャンセルOK

日時 第3(日)14:00~16:00  
場所 姫里集会所  
参加費 無料(12月のクリスマス会だけ実費)  
申込 吉川まで  
問 ☎078-583-2525  
✉yassan.yoshikawa@nifty.com

## カ障連大阪フレンドリー

◆点字部の勉強会  
対象 パソコン点字に関心のある方、視覚障がい者の情報共有に関心のある方

日時・場所  
奇数月 第2(火) 13:30~15:00  
姫里集会所  
偶数月 第2(水) 13:30~15:30  
北須磨教会  
申込 笠松まで  
問 ☎090-5661-4324  
☎072-722-0271  
✉kasamatsu-yukisan@iris.eonet.ne.jp

聴覚障がい者ボランティア会◆聖書の手話表現の学び・教区活動の手話通訳者派遣

対象 手話に興味をお持ちの方 ※手話講習会ではありません  
日時 第1・3・5(水) 10:00~14:00  
場所 姫里集会所  
問 障がい者委員会  
✉dis@ostk.catholic.jp

マザー・テレサ共労者の集い◆大阪梅田教会

日時 第1(土)14:00  
問 高塚 ☎06-6921-0693  
◆加古川教会  
日時 第3(火)13:30~15:00  
問 森田 ☎079-426-5704

第42回 日本カトリック正義と平和全国大会 2025 仙台大会◆「希望は欺かない~大震災から14年つなぐ思い 国籍を超えて歩む平和への道~」  
・10/11(土)フィールドワーク・10/12(日)基調講演・シンポジウム・10/13(月・祝)分科会・派遣ミサ

会場 仙台カテドラル カトリック元寺小路教会他  
主催 カトリック仙台司教区  
共催 日本カトリック正義と平和協議会  
協力 日本カトリック正義と平和仙台協議会  
問合せ 大会実行委員会事務局  
☎022-222-5535 ✉sendai.seihei2025@gmail.com

ひとりて悩まないで  
~私たちに聴かせてください~  
カトリック大阪高松大司教区  
ハラスメント相談窓口  
※委員会はハラスメント全般を視野に入れることになりました。そのため、名称変更します。  
電話番号:06-6941-9718  
相談窓口受付時間  
月・火・金曜日(祝日を除く)  
午前10時~午後4時  
あなたの悩みを親身になって受け止めます。秘密は必ず守られます。

行事等日程	
7月	
1 火	福者ベトリ岐部司祭と187殉教者
3 木	[常任司教委員会]
9 水	10時半 顧問会・責任役員会 13時半 司祭評議会
23 水	10時半 司牧者集会
8月	
3 日	カンボジア教会の日の献金
6 水	主の変容 平和旬間(~15日迄)

### 7月司教予定

「行事等日程」以外

- 7/6 住吉教会90周年記念ミサ(†S)
- 7/20 坂出教会 堅信式(†S)
- 7/24~25 四国カトリック幼稚園研修会(†S)

†M=前田万葉大司教  
†S=酒井俊弘補佐司教

青年と子どもの錬成会  
セコレンで超ENJOY  
~かみさまと勇気の花を咲かせよう~  
2025年8月15日(金)▷8月17日(日)  
開催場所 和歌山信愛中学校・高等学校  
(和歌山県和歌山市屋形町2丁目23番地)  
対象:小学3年生~中学3年生 人数制限無し  
集合場所:現地 参加費:6000円  
申込:右のQRコードから 申込締切:7月25日(金)まで  
【お問い合わせ】カトリック大阪高松大司教区 本部事務局 青少年司教委員会  
メールアドレス:youth@ostk.catholic.jp 代表電話:06-6941-9700(平日9時~17時)  
主催 カトリック大阪高松大司教区 青少年司教委員会

今年、戦後八十  
年の記念年になりま  
す。かけがえのない  
生命が簡単に奪われ  
る戦争を決して繰り返  
返してはならない。  
この八十周年、教会  
は世界の平和を実現  
するために、さまざま  
な祈りと活動を行  
ってききました。けれ  
ども、世界の各地で  
まだ戦争は続いてい  
ます。平和の実現の  
ための祈りと働きは  
今日もなお、私たち  
一人ひとりに課せら  
れているのです。教  
区平和月間が設けら  
れた今年、改めて世  
界の平和の実現に向  
けて何が出来るのか  
を見つめなおしてい  
きたいものです。  
(大阪南地区 N・D)





# 希望と平和の巡礼者となろう

## ～ 苦しむ人、悲しむ人とともに歩む道～



Let's be Pilgrims of Hope and Peace  
-A path to walk with people who suffer and grieve-

世界中がさまざまな混乱と分断にさらされている今、大阪高松大司教区では「平和やいのちの尊さ」を問い直し、「希望と平和の巡礼者」として、苦しむ人や悲しむ人とともに歩む決意をしました。そして、本年は試行的に7月8月を「教区平和月間」と設定し、自教会以外の企画への参加も可能にいたしました。これらの取り組みを通してよりいっそう平和への関心が高まり、小教区間での交流の機会が増えることを願っています。

なお、この月間は、あくまでも大阪高松大司教区独自のもので、その中心となるのは、日本カトリック平和旬間（8月6日～15日）です。「戦争は人間のしわざです」で始まる教皇ヨハネ・パウロ二世の平和メッセージを思い出し、戦争が「人間のしわざ」であるなら、人間は平和を生み出すこともできるはずだと信じて、聖年でもある今年の平和月間を有意義に歩んでいきましょう。今回は、7月中に実施される予定の平和に関する行事をご紹介します。ぜひ、関心のある行事にご参加ください。

### 〈姫路地区〉

◆**姫路地区宣教評議会主催 7/12(土)10:00～**  
姫路地区合同平和祈願ミサと聖体賛美式  
・聖年の年、希望の巡礼者にちなんで、姫路地区内にある三つの巡礼指定教会にて行う計画。  
(8/2 相生教会 8/9 姫路教会)  
会場：加古川教会 ☎：079-422-2870

◆**豊岡教会 7/13(日)11:00～**  
DVD『あの日この校舎で』鑑賞後、グループ別に分かち合いを行う。  
会場：豊岡教会 ☎：079-622-2018

◆**姫路教会 7/20(日)10:00からのミサ 11:15～12:15**  
講演会：「世界平和の実現へ」講師：林勝美さん（兵庫県被爆者団体協議会常任理事 被爆かたりべ）自らの被爆体験、証言活動、昨年のノーベル賞受賞報告などのお話をさせていただきます。  
会場：姫路教会聖堂 ☎：079-222-0043

### 〈神戸地区〉

◆**神戸地区社会活動委員会主催 7/12(土)13:00～**  
フクシマ現地報告：「アートを通じて伝える原発事故」お話：中筋純さん（写真家・おれたちの伝承館館長）「おれたちの伝承館」：福島県南相馬市小高区講演会の後、平和祈願ミサを予定。  
会場：神戸中央教会 ☎：078-221-4682

◆**北須磨教会 7/6(日)ミサ後 11:00～**  
平和関連図書紹介コーナーを7/1(火)に教会ホール特設コーナーに設置予定(7月、8月中)上記図書の中から『長崎の鐘』(永井隆)をもとにした朗読劇の有志による上演。  
会場：北須磨教会 ☎：078-791-3788

◆**垂水教会 7/6(日)開幕式、子どもミサ 10:00～11:00**  
**7/13(日) 11:00～12:30**  
歴代教皇の平和について学び、分かち合う。  
**7/13(日) 平和の展示会(終日)**  
会場：垂水教会 ☎：078-707-4434

◆**たかとり教会 7/13(日)9:00からのミサ後**  
外国籍の方のお話を聞き、分かち合う。  
～愛と一致に満ちた教会をめざすために、お互いを知ろう～  
会場：たかとり教会 ☎：078-731-8300

◆**神戸中央教会 7/13(日)10:00～**  
平和祈願ミサ(日英バイリンガル)  
ミサ後 11:30～DVD映画上映会(集会室)  
『壊された5つのカメラパレスチナ・ピリンの叫び』  
・上映会後、平和への思いや祈りを書いて平和ツリーにして展示。  
会場：神戸中央教会 ☎：078-221-4682

### ◆六甲教会 7/27(日) 11:20～

『冤罪★叫び★命』～「福岡事件」から考える死刑  
講演者：古川龍樹さん  
(熊本県玉名市生命山シユバイツァー寺代表)  
1947年に起きた福岡事件の犯人とされた西武雄氏は、無実の叫びも届かず1975年に死刑執行された。死刑執行から50年目の今年、再審請求運動に取り組んできた亡父古川泰龍さんの遺志を受け継ぎ、皆さんと今の死刑制度を考えたい。  
会場：六甲教会イグナチオホール ☎：078-851-2846

### 〈阪神地区〉

◆**阪神地区合同 7/21(月・祝) 10:00～**  
9教会合同の平和祈念ミサ  
(夙川・芦屋・甲子園・伊丹・宝塚・仁川・園田・尼崎・武庫之荘)  
司式：酒井俊弘補佐司教  
会場：夙川教会聖堂 ☎：0798-22-1649

◆**夙川教会社会活動委員会主催 7/21(月・祝) 11:30～**  
「被爆ヴァイオリンで奏でる『平和への祈り』コンサート」被爆したヴァイオリンを被爆3世である伊藤さくらさんが奏でます。  
ヴァイオリン：伊藤さくら  
チェロ：グスタフ・ヴォツヒャー  
\*コンサート後、被爆者のお話を聞かせていただく。  
会場：夙川教会聖堂 ☎：0798-22-1649

◆**武庫之荘教会 7/20(日)9:30～**平和祈願ミサ(ミサ中、手織り折り鶴奉納)10:45～講演会「ベトナム難民移住50年に際し、今後の移民問題に関して」講師：グエン・フィ氏(園田教会信徒)講演会後、分かち合いのためのお茶会  
会場：武庫之荘教会 ☎：06-6431-7029

◆**芦屋教会 7/27(日)9:30～**主日ミサ  
ミサ後 ①講演会(10:30頃～)：被爆二世の千葉孝子さん(芦屋市・被団協)が母様の日記をもとに原爆体験と取り組みをお話される。(40～50分)  
②信徒すべてに平和カードを書いていただき、歩道沿いに吊るすことを企画。(7月～8月)  
会場：芦屋教会 ☎：0797-22-3982

◆**甲子園教会 7/27(日)9:30～**平和祈願ミサ  
ミサ後、「被爆者証言」(西宮原爆被爆者会)を聞く。  
会場：甲子園教会 ☎：0798-41-1602

◆**伊丹教会 7/27(日)9:30～**平和祈願ミサ  
平和を求めるために多くの人と共に歌い、祈り、ミサを捧げる。ミサ後：ミニコンサート  
会場：伊丹教会 ☎：072-772-2487

### 〈北摂地区〉

◆**高槻教会 7/6(日)、7/20(日)**  
いずれも**10:15**から(第2ミサ後)社活カフェ開催  
身の回りの課題にフォーカスして、プレゼンターが紹介。参加者が感じたことなどを自由に分かち合う。  
7/6「海外生活を通してステレオタイプについて考える」  
7/20「犯罪と社会～新しい刑罰の導入と社会復帰支援～」  
会場：高槻教会右近会館1階 ☎：072-675-1472

### 〈大阪北地区〉

◆**大阪梅田教会 7/17(木) 19:00～19:30**  
平和の祈り「サクラファミリアく祈りのよる」とともに  
会場：サクラファミリア ☎：06-6225-8871

### 〈大阪南地区〉

◆**大阪田辺教会 7/6(日)9:00～**平和祈願ミサ  
ミサ後上映：ドキュメンタリー映画『荒野に希望の灯をともし』  
～医師・中村哲 現地活動35年の軌跡～  
会場：大阪田辺教会聖堂 ☎：06-6692-2330

◆**生野教会 7/13(日) 11:30～12:40**  
上映会①大阪・生野 多文化の街で  
②知っていますか？ハンセン病問題  
平和のメッセージカードの奉納  
会場：生野教会 ☎：06-6757-1792

◆**住之江教会 7/13(日)ミサ(9:00)後、**  
**10:10～11:30**講演会「今、動こう。私たちの子ども、私たちの孫が戦争に巻き込まれないために」「80年間、どこにも侵略せず誰も殺さなかった日本社会。この先もずっとそんな国でありたい」と願い、皆さんと平和の巡礼者となれる道を探します。  
講演者：ビスカルド篤子さん(シナピス)  
会場：住之江教会聖堂 ☎：06-6681-1895

◆**橋本教会 7月～8月に各自で、アシジの聖フランシスコの祈りをする。**  
会場：橋本教会 ☎：0736-32-0596

### 〈岸和田地区〉

◆**浜寺教会 7/27(日) 10:30～**  
「パレスチナ問題」勉強会  
ガザについてゼロから学び、分かち合う。  
会場：浜寺教会 ☎：072-261-1563

### 〈高知地区〉

◆**中島町教会 7/27(日)9:30～**  
平和祈願ミサの中でテゼの祈りを捧げる。  
ミサ後 上映会  
『長崎の祈りー水ガメを運ぶ人々に導かれて』(2021年5月NHK「こころの時代」より)  
古巣馨神父がご自身の体験から、貧しく小さな人びとが水ガメを運んでいる実例をあげ、無条件で相手を受け入れる心を証した平和に繋がる人びとについて語られています。  
会場：中島教会 白百合会館 ☎：088-872-3658